

# 舟入20期同期会便り

2004年7月  
(第7号)

同期会ホームページ

第7号発刊に想う 末田義博(同期会 会長)

同期生の皆様、お元気でお過ごしのことと思います。

我々20期生は、18年前、同窓会の当番幹事として同窓会のお世話をさせていただいたのを契機に結束し、今日まで同期会を通じた着実な交流を行ってまいりました。

同期会の運営及び同窓会への協力体制につきましては、昨年11月2日の同期会において、世話人代表(末田義博)をはじめとして現在お世話をさせていただいているものが継続して同期会の運営をさせていただくこと、及び同窓会にかかわる事項についても、世話人代表を中心とした前述の世話人において協議し、推進していくことが承認されました。

これらにつきましては、以下のとおりとさせていただきたいと思っておりますのでお知らせします。

今後とも、同期生皆様のご協力の程、よろしくお願いいたします。

## 1 同期会会則の制定

同期生への会計等の透明性を確保するため制定いたしました。

## 2 同期会役員

これまでの世話人という名称から、会長、副会長等の汎用語に変更いたしました。

## 3 同窓会役員

現在、同窓会の理事会は、会長(10期今西和男)、副会長(3名)及び理事(15名)によって構成されています。副会長及び理事は3年毎の輪番制であり、平成16年8月から20期生に対して副会長1名及び理事3名を要請されています。

一方、代表委員会は、各期の代表委員(同期会長)によって構成されています。

同窓会副会長と同期会会長とは、理事会は同窓会諸事業の企画立案を行い、それを代表委員会で検討し決定されるものであることから、兼ねるべきではないとの意見と、分けることにより同窓会との協力関係がスムーズにいかなくなるという意見がありましたが、これまでの20期同期会での活動を継続し維持向上させていくため、又、3年間の期間限定でもあり、同窓会会長と同期会会長との兼任は差し支えないとの結論になりました。

## 4 同窓会会費

これまで、同期会費納入に併せ同窓会費の納入をお願いしてまいりました。

同窓会費は、同窓会規約第16条に「毎年1口(1,000円)以上を納入するものとする」と定められており、本来、同窓会へ卒業生が直接支払うべきものですが、納入率が低いため同期会組織を通して同期会費と併せてお願いしているところです。

おかげさまで、20期は毎年6万円前後納入させていただき、同窓会からも高い評価を受けております。言うまでもなく、これは同窓会収入の大部分を占めており、在校生のクラブへの補助、千田保育園への補助、市女原爆死没者慰霊式典への補助等を継続していくために不可欠のものと考えますので、今後ともよろしくお願いいたします。

\* 同期会会則、役員につきましては次頁をご覧ください。

## 舟入高校20期同期会会則

### (名称)

第1条 本会の名称は、舟入高校20期同期会とする。

### (目的)

第2条 本会は、会員相互の親睦を図ることを目的とする。

### (会員)

第3条 本会は、広島市立舟入高等学校20期卒業生をもって構成する。

### (事業)

第4条 本会は、第2条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 同期会の開催
- (2) 舟入・市女同窓会への支援
- (3) その他本会の目的を達成するための事業

### (役員)

第5条 本会に次の役員を置き、其々の事務を所掌する。

- 1 会長は、本会を代表し、本会の業務を総理する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長が不在のときは会長の代理をする。
- 3 会計は、本会の経理を担当する。
- 4 監査は、本会の会計を監査する。
- 5 常任幹事は、第4条に掲げる事業を行うにあたり、主体的に活動する。

### (役員を選出及び任期)

第6条 役員は、会員の互選により定める。

- 2 役員任期は2年とする。但し、再任を妨げない。
- 3 役員に欠員が生じた時は、会員の互選により決定するものとし、後任者の任期は、前任者の残存期間とする。

### (臨時幹事)

第7条 第4条に掲げる事業を行う際に、有志を持って構成する臨時幹事を置くことができる。

### (会計年度)

第8条 本会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日とする。

### (経費)

第9条 本会の経費は、次の収入をもって充てる。

- (1) 会費
- (2) 寄付金
- (3) その他

2 会員は、毎年1口以上を納入するものとする。

### (委任規定)

第10条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は会長が他の役員と協議して定める。

附則 この会則は、平成16年4月1日から施行する。

### 役員(第6条関係)

会 長:	末田 義博
副 会 長:	植木 正伸
	田中 信義
会 計:	渡辺 潔
会計監査:	中原 信明
常任幹事:	*赤峰 敬子
	石川 一司
	内田 隆史
	*岡崎 研児
	末田 文孝
	高岡 多美江
	戸崎 紀子
	辻 久子
	戸倉 豊
	*中脇 令子
	吉田 正
	吉山 真理子
	若林 洋子

\*印:同窓会理事兼任

### 会費(第9条関係)

年会費は、当面、1口1,000円とする。

同期会に参加して 3年4組 大深(旧姓松田)明子



松田明子

5月の連休も過ぎ、新緑の季節から梅雨に移りかわろうとしています。

昨年11月に久しぶりの同期会からもう半年もたっているんですね。

この頃は記憶が薄れるのが早いので、いただいた同期会の写真を持ち出し、思い出しているところです。

テーブルで撮ってもらった写真、隣に美人が写っています。娘達のがぞき込むので「お母さんと同じ仕事で児童館へ勤めよってんよ。」「えー、同じ年だなんて信じられん。10歳は若く見えるね。」(確かに)「お母さんだって、人からは若いって言われるんよ。あんたたちのお陰で若いお母さん達と付き合うし、子ども相手の仕事だしね!」(張り合ってどうする。)

この日は、西区民まつりの児童館のコーナーで汗だくで働いていたのです。帰広していた友達とお茶することもできず残念でした。でも、久しぶりに会った同期の人達、話したこともなかった人達とも、気さくに話ができて懐かしく、楽しかったです。

近年、仕事からみで出会う人が同期生や同窓生とわかり、心強く感じるがよくあります。舟入高校の卒業生で教育関係の仕事をしている人は多いですね。

老化(特に頭)を意識する年齢になってきましたが、仕事上は責任があり、こなさなければならないことは増えています。そんな時、新たな出会いが、実はつながっていて支えられていることを実感し、今頃になって舟入高校の卒業生で良かったと感じているところです。



舟入高校 20期 同期会 2003年11月2日 於：センチュリー21

丁寧なお便りと名簿、会報などありがとうございました。

渡辺君の高校時代の顔はすぐ思い出しました。

「同期会便り」を受け取ったのが11月26日の午後で、すぐ全部に目を通しましたが、気まじめな校風がそのまま残っているようで微笑ましく思いました。

私自身は、この11月初めにも帰広し、新校舎も見学したことがあります。私にとって舟入時代の華は美術部活動でした。どういう訳か同期の仲が良く、今でも毎年夏に集まっています。

20代、30代はお互い忙しくしていましたが、10年くらい前、子育ても一段落しており、また集まりましようと呼びかけがあって、毎年8月木下先生を囲んで美術部OB会として集まっています。

今年は欠席しましたが・・・・・・。それと数年前父が他界し、母が一人暮らしをしていますので、半年おきには見舞いに帰りたいと思っています。

広大文学部を出てすぐヤマギシ会に入って現在に至っています。マスコミなどで話題になる(叩かれる)ことがあるのでご存じかと思いますが、普通に生活しています。

職業としては農業で、25歳からほとんど関東地方で畜産(養鶏養豚酪農など)に従事しています。今住んで仕事をしているところは群馬県の北西部で、養鶏養豚を主にした農場です。農業の利点の一つは通勤がないことです。早朝あるいは深夜、事務整理したり、読書やインターネット利用したり、自由な時間はたっぷりあります。土地もいっぱいあって、たぶん一生かかっても使い切れないので、できる範囲で営農するという姿勢で仕事をしています。

会報の中で山口県の大島に行かれたことが出ていますが、父の出身地なので懐かしいような、うらやましいような気持ちがしました。

上記の便りを送ってはや半年経ちました。この4月はじめには広島から母を招いて、近くの温泉など数日家族旅行を楽しみました。そのときの写真をお送りします。足下に見えるのが鶏舎と豚舎です。息子が二人、もう20代後半でそれぞれの場に就いています。

同期生の訃報を見ると厳粛な気持ちになり、この豊かな日本の中でどういう仕事をしてゆけばよいかということをよく考えます。

同期会でお会いする機会には、楽しく過ごしたいと思います。

山本孝志 〒377-0931 群馬県吾妻郡吾妻町大字大戸 4781-19

ヤマギシズム生活榛名実顕地農事組合法人(役目は代表理事)



山本孝志



## 割り忙しい毎日～でも呑気に過ごしてもあるB型

3年5組 陰山(旧姓栗栖)寛子

割と忙しく毎日を過ごしています。長女(長女しかいません)が大学へ入学した3日後から12年ぶりに可部にある調剤薬局で管理薬剤師として正規に働いており、片道30kmを1時間かけて車で通勤しています。

父が前立腺癌になり安佐市民病院に通っていたので、私が可部に勤めている方が何かと便利なこともあると思い、この仕事の話があったとき迷わず受けました。

今年1月末、父は亡くなりましたが、可部に勤めていて本当に助かりました。木曜と土曜の午後に休みなので、今はひとりになった母の所(加計町)へ一週間に一度は行くようになっています。

それにしても、勤め始めは大変でした。娘が小・中・高校生の時は、近くの眼科の処方箋薬局でバイトをしていましたが、今の薬局は主に循環器系の薬でその種類は違うし、その数は多い。

それまでの不勉強が祟り薬の名前は分からず( -- --) 初めは一番薄い専門書を読み、薬のリストを作り、カンニングペーパーならぬカンニングノートのようなものを作り、研修会があればできる限り出席し…… e t c、子供が出て行った寂しさを感じる暇もなく過ごしました。

そうしながら父の診察日は、私が立ち会うようにして、でもこれは私にとっていい勉強になりました……等々と書くと、いかにも頑張ってる勉強したようですが、気持ちとは裏腹に、本を読み研修会には出るもののなかなか頭の中に入らず、また、入ってもすぐ抜けて行ったり、そういう時は、10聞いて1でも残ればイヤと……でもトシかな? イヤイヤ50歳で医学部に入学した人の話も出ていたゾ --- などと思いながら相変わらず研修会には参加しています。(ひとつには、わたしと同じく薬学を選んだ長女と対等に話をしようという私の見栄も少々入っています。)

そんな風に忙しく忙しい毎日を過ごしていた4月30日の早朝(?) 丑三つ時より少し前、末田君よりFAXが届きました。同期会便りに何か書くようにと ----しかも、締切は5月15日だと! 断る暇なく5月15日は近づき、只今5月12日夜、寝る時間を遅らせて? 拙い文章を書いています。

忙しいとは言いながら、 ---先日、鯉のいなくなった庭の池を埋め立てて真砂土を入れ、草が生える前に色々な野菜を植えました。サツマイモ、カボチャ、ナス、キュウリ、ウリ、トマト、ゴーヤ、オクラ、ヤーコン、コーン、どの苗がどの野菜か少々分からなくなりました。実の成る頃には分かるかも? しかし、このうちどれだけ収穫できるかは不明です。

池に残っていたメダカは水蓮鉢に入れて今はペット? 呑気そうなこともやっています。色々なことをして、なるべく年を取るまいと、年に対して細やかな抵抗をしている今日この頃です。

娘は、今年4年になりました。就職については早々と内定をもらい、"就活は楽しかった"などといっています。後は、無事卒業してくれるのを祈るのみ! そして --- 来年からは授業料を払わなくてもいいノダ! 何をしよーまだ若いから、何かできそー(と言いながら、今と同じく忙しく過ごしているような気がします。) 差し当たり、この次の同窓会、楽しみにしています。V(??)V



栗栖寛子

### 第27回 舟入・市女同窓会 あの素晴らしい青春をもう一度……

とき：平成16年8月21日(土)16:00～(受付15:00～)

ところ：ホテルグランヴィア広島 4階悠久の間

かいひ：7,000円 (アトラクション、マリンバ演奏、お楽しみ抽選会)

\*チケット購入等詳しくは、末田義博までお尋ねください。

第1回舟入20期ゴルフコンペの報告 3年2組 岡崎 研児

〔概要〕

平成16年3月20日(土)に、20期有志8名の参加を得て東広島市の「宮島志和カントリー倶楽部」で、初めての同期ゴルフコンペを開催しました。

参加者は、内田隆史君(4組/剣道部)、尾野本悟君(10組/テニス部)、小堀昭男君(13組/バレー部)、中山雅夫君(12組/テニス部)、濱田猛君(6組/テニス部)、浜本正周君(9組/テニス部)、宮島義輝君(11組/剣道部)、岡崎(バレー部)でした。



岡崎 研児

競技方式は、たまたま2人ひと組のクラブ対抗戦が可能な参加数でしたので、ダブルペリア方式(隠しホールの打数により事後にハンディーを決める方式)の団体戦にしました。結果は以下のとおりです。

1位：バレー部(トータルネットスコア：152.4)、  
2位：テニス部A(濱田/浜本：152.8)、3位：テニス部B(尾野本/中山：155.0)、4位：剣道部(164.8)、  
ドラコン：浜本・宮島、ニアピン：濱田・浜本。

〔開催までの経緯〕

平成9年(?)の同期会の席で、中本博君(9組/陸上部)からコンペ開催の提案があり、10名前後の参加希望者があったようですが、なかなか実現にいたらず、昨秋の同期会で再度話が盛り上がり実現しました。中本君は急用のため参加できませんでしたが、腕は同期で一番とのうわさも聞いていますので、次回は大いに活躍されるものと期待しています。



〔トピックス〕

今回のコンペでのベストグロス(ハンディーなし)は、尾野本君の82(42/40)、次が85で濱田君(45/40)・小堀君(44/41)でした。(小堀君は初めての80台で、ホクホクでした) ゴルフは性格がそのまま出るとよく言われますが、大胆にまとめてみると次のようになります。

尾野本君のゴルフは「堅実」、

濱田君のそれは「ギャンプラー」、

浜本君「孫5人、やることは早い」、

中山君「かっこいい」、

宮島君「スマート」、

内田君「見かけよりはまじめ」、

小堀君「豪快」、岡崎「？」

(前の4人は別組なので、同伴者の感想などから一部類推しています。反論のある方は、メールを受け付けます。)

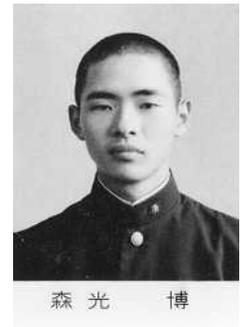
〔次回参加要請〕

次回は、9月18日(土)に前回と同じ宮島志和CCで、開催します。次は女性もぜひ参加していただいて、最低でももうひと組は増やしたいというのが参加者の総意でした。また、せっかく始めたコンペなので、細く長く定年後も続けようとの意見も出ました。今回はたまたま運動クラブ系の方々のみ参加でしたが、団体戦に拘っているわけでもありませんし、腕も関係ありませんので、多くの同期生のご参加をお待ちしています。具体的な内容は同期のホームページ(<http://funairi.hp.infoseek.co.jp/>)にも掲載します。



私はもともと理屈っぽくて、こだわりが強く、感情の表現がうまくできない性格だと思っています。

また、見栄っ張りや人に良く見られたいとか、組織の中で認められて偉くなりたいとか思っていて、「在りのまま」ではない無理をした生き方しかできなかったように思います。自分の実力以上のことをした生き方をすれば、当然、自分にとって精神的なストレスになりますし、そのストレスを家族の中にも持ち込んで、家族をも苦しめることになります。



ところが、ある個人的な体験から「ずいぶん精神的に楽に生きられるようになりました」。

その、体験というのは、確か8年くらい前になりますが、自分に無理をして「うつ病」になりました。眠れなくなり、食欲もなく、全く何をやる気力もなく、ただ、寝ていたいという状態でした。

また、自分や家族の将来に悲観して、自殺したいとも思いました。ただ、救いだったことは、仕事柄、精神保健についての知識はありましたので、すぐに自分が「うつ病」だと分かりました。ゆっくりと休んで、薬の力を借りたら、そのうちきっと良くなることを知っていました。

半年、仕事を休ませてもらいました。ちょうど、年明けに職場に復帰させてもらい、4月に私が好きな今の職場「児童相談所」に異動させてもらいました。

当時の所長が「森光君の昔の実力を知っている。そのうち元気になってくれるから、しっかり仕事をしてくれたらいいから」と言ってくれました。

数年間は、85パーセントくらいの状態でしたから、とりあえず自分に与えられた仕事をこなしました。他の職員との無理した付き合いもしませんでした。徐々に回復して、95パーセントくらいに回復して、当時の所長から、虐待対応の責任者としての今の仕事をさせてもらっています。

今、私が大切にしていることと言えば、まず、自分と家族です。そして、職場の身近な人たちです。

またそれまで、あまり感情の表現ができなかったのも、できるだけ感情を言葉にするようにしています。そして、病気になる前と基本的に違う点は、上司に無理してまで良く見られたいとは思わなくなりました。自分できないことだと思えば、「私にはできません」とか「やってみますので、少し時間ください」などと言えるようになりました。上司からの要求に対しては、自分と自分が抱える職員ができることしか請け負いません。職員に対しては、個々の職員にできる要求や指示しかしないで、職員の組み合わせと仕組みで対応できるようにしています。このお蔭で、「ずいぶん、楽になりました」。

また、仕事以外に自分で楽しめる時間を持っています。

一つは、2年前から上田流のお茶を習っています。先生は「作法よりもまずお茶を楽しんでください」と言われます。「静の時間」「季節を感じること」「もてなす心」など10年、20年サイクルの世界です。週1回ですが、本当にゆったりとした時間を過ごしています。チームの職員にも「今日はお茶だから早く帰るよ」と言って帰ります。

もう一つは、温泉に行くことです。週末には、殆ど妻と一緒に1時間位で行ける温泉に行っています。

今、振り返ってみて思うことは、うつ病の時は自分にとって最悪の状態でしたし、家族にも職場にも大変な迷惑と負担をかけましたが、それを支えてくれる家族と職場がありました。人間、いろんな人に支えられて生きているのだと感じています。

人に支えられたという実感から、人を支えることを学んだように思います。

ほんのささやかな個人的な経験でした。

20期の皆さんこんにちは。お元気ですか。

舟入高校を昭和44(1969)年3月に卒業して35年。社会へ出てから31年。現在、共働き中。いつの間にか、自分たちが若かったころの親の年になってしまいました。時代の流れって早いものですね。

昨年11月に、仕事のこと、思い出話など何でもいいから投稿して欲しいと依頼を受けてから6ヶ月。何を書こうかと時々思い出していましたが、いつの間にか投稿締切日になってしまいました。月日の経つのも早い。何を書こうかといろいろ考えましたが、長らくご無沙汰しているので近況をお伝えしようと思います。

皆さんのご家庭では、ぼちぼち孫の話が聞かれるところではないでしょうか。

わが家は、現在89歳、82歳の夫の両親と54歳、53歳の私たち夫婦の4人家族です。そして私の実家には、この6月に80歳になる母が一人暮らしをしています。高齢社会そのままの縮図です。26歳、24歳の子供たちは、家から出てそれぞれの生活をしています。でも、親のすねは十分かじっていますけど。

最近、ある事件(高額な床下換気・防湿工事施工)から、実家を改修することになり、休日は、実家(すぐ近くですが)へ通っています。年寄りの一人暮らしは様々な対策が必要です。シロアリ対策や水漏れ防止などといった高齢者をカモにする商売が後を絶ちませんから。

そのような中、親はいつまで経っても親らしくあってほしいと思うのは私だけでしょうか。

あれだけ、子育てに厳しくしてきた母ですが、最近、急に私を頼って、一つ一つ「どうしたらいい?」と聞いてきます。何でこんなことができないのかと、ついつい怒ってしまいます。しっかりした母も記憶の中にあり、「どうして?」と怒ってしまいます。父が亡くなり、また、娘一人ということもあるからでしょうか。年をとると子どもに帰るということをよく聞きます。本当にそうなのかなと思います。

「しっかりお母さんの言うことを聞いてあげなさい。怒っちゃだめよ、萎縮するから。やさしく聞いてあげなさい」と、同僚などがアドバイスしてくれますが、なかなか難しい。

「わからん、わからん」と言う母。皆さんの親御さんはいかがですか。いつまでも、しっかりものの母であって欲しいと思うのは私だけでしょうか。

でも、ここまで育ててくれたのは「母」。やはり有難いという気持ちはあります。

これまで仕事のできたのも夫の両親と実家の両親の助けがあったからこそと、怒りながらも感謝の気持ちを持ちつつ、親たちには、元気ですばらしい老後をごして欲しいと願っている毎日です。



国津 貴美子





杉山 夏美

「遠路はるばる同窓会に出席して頂き、どうもありがとうございます。」  
 の文面で始まる原稿依頼のFAXが5月の連休中に自宅に届いていた。  
 その頃、私は母と2人ノンビリとゴールデンウィークを広島で過ごしていた。  
 7年前に父を肺ガンで亡くして以来、出来るだけ母が住む広島へかえることに  
 している。仕事柄(英語を幼児から中学生まで教えている)夏休みが10日間位  
 冬と春の休暇がほしい1週間、そしてゴールデンウィークと秋(11月に連休  
 がある)に帰っている。だから去年の11月は連休中で広島へ帰省していたので、  
 同窓会に出席できたのである。

去年は、5月から今年の3月まで小学校で英語を教える仕事を市川市教育委員会より引き受けた為に  
 超多忙で、夏休みと冬休みの間に息抜きがなかったのが同窓会に出席したことは、とてもよい息抜きに  
 なった。高校卒業以来、初めて出席する同窓会は何かしら不思議な違和感のあるものだった。  
 思わず「初めまして。」とあいさつしたくなるそんな雰囲気だった。歳を重ねるとはこういうことを言うの  
 だと実感した。自分がすっかりおばさんになっているのも忘れて妙な感動を覚えた。  
 印象的だったのは高3の政経でお世話になった今田先生がとてもお元気で、そしてスピーチされたことだ。  
 30数年も前のこと、世界の経済は自由圏、共産圏などと分けているときっと行き詰まる。先生が授業で  
 話されたことを私はよく覚えていた。ベルリンの壁が崩れたとき、先生の話鮮明に思い出した。

時の流れは過ぎてしまえば本当に早いものだ。同窓会に出席して、昔の思い出が私を元気にしてくれた。  
 4校を担当した小学校での英語指導も3月に無事修了した。気分をリフレッシュして次のチャンスに備えたい  
 と思っている。そして次回同窓会でもっとたくさんの旧友と再会したいものだ。

P.S 私は千葉県市川市で通訳ボランティアの会に所属し、活動をはじめて8年目を迎えた。市川市の  
 人口は43万人で、外国人登録をしている外国人は1万人以上住んでいる。そのため、有償無償を含め語学  
 ボランティアの活動が活発だ。市役所の中に外国人の相談窓口が設けられ、私は行政面の通訳の手伝いを  
 している。このような語学ボランティアの活動をされている方がいらっしゃれば是非ご連絡下さい。

同期会収支報告 平成15年4月1日～平成16年3月31日

摘 要	収 入	支 出	残 高
前年度からの繰越	462,470		
同期会年会費(121名)	121,000		
舟入・市女同窓会年会費(95名)	95,000		
同期会会費(11/2開催分)@6,000×63名	378,000		
同期会開催祝金(11/2開催分)恩師3名より	30,000		
同期会開催費用(11/2開催分)		674,193	
同窓会年会費払込(案内費用控除後)		65,000	
同期会便り印刷・送料他		54,276	
同期会名簿印刷代		33,000	
一般通信費及び事務用品費		20,644	
火災お見舞金		10,000	229,357
計	1,086,470	857,113	
次年度繰越		229,357	
合 計	1,086,470	1,086,470	

平成16年4月2日

以上のとおり平成15年度会計報告をいたします。

会計報告の各項目について関係帳簿により監査の結果、  
 いずれも適正に処理されていることを認めます。

会 計 渡田 潔 

会計監査 中原信明 